

## 医学総合演習

責任者・コーディネーター	臨床検査医学講座 諏訪部 章 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床検査医学講座、情報伝達医学分野、細胞生物学分野、感染症学・免疫学分野、衛生学公衆衛生学講座、機能病態学分野、統合生理学分野、分子医化学分野、小児科学講座、病理診断学講座、血液腫瘍内科分野、循環器内科分野、消化器内科肝臓分野、心・腎・内分泌内科分野、産婦人科学講座、呼・アレ・膠原病内科分野		
担当教員	諏訪部 章 教授、平 英一 教授、齋野 朝幸 教授、吉野 直人 特任准教授、坂田 清美 教授、及川 浩樹 講師、木村 眞吾 准教授、金子 桐子 講師、久保川 学 教授、外館 玄一郎 助教、上杉 憲幸 講師、鈴木 雄造 助教、房崎 哲也 特任准教授、滝川 康裕 教授、瀬川 利恵 特任講師、尾上 洋樹 助教、齋藤 平佐 助教		
対象学年	4	区分・時間数	講義 27.0 時間
期間	前期		

### ・学習方針（講義概要等）

適切な診断・治療の実践には、個々の患者の病態生理に関する十分な理解が必要である。そのためには広範な基礎医学・生命科学の知識を統合し、臨床知識に結びつける能力が要求される。本演習では、4年次までに学んだ基礎医科学および臨床医学の知識を自身がどの程度把握しているか演習形式で学ぶ。

学生ガイダンス時に提示される授業日程により次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### ・教育成果（アウトカム）

自らの持つ基礎医科学および臨床医学の知識を統合することで、疾病とその病態生理を理解し、適切な回答に至る思考過程を涵養する。

### ・到達目標（SBO）

- 1)演習問題の作問意図を指摘できる。
- 2)演習問題中の解説文を作成することができる。
- 3)演習問題の関連知識を説明できる。
- 4)正解を導くに至った医学知識と思考過程を説明できる。

・講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/1	金	5	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	医学総合演習 概論
4/7	木	5	情報伝達医学分野	平 英一 教授	薬理学
4/8	金	5	細胞生物学分野	齋野 朝幸 教授	解剖学
4/14	木	5	感染症学・免疫学分野	吉野 直人 特任准教授	細菌学・感染症学・免疫学
4/15	金	5	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	衛生学・公衆衛生学
4/21	木	5	機能病態学分野	及川 浩樹 講師	病理学
4/22	金	5	統合生理学分野	木村 眞吾 准教授	生理学①
4/27	水	5	分子医化学分野	金子 桐子 講師	生化学
4/28	木	5	呼・アレ・膠原病内科分野	齋藤 平佐 助教	呼吸器内科分野
5/6	金	5	統合生理学分野	久保川 学 教授	生理学②
5/12	木	5	循環器内科分野	房崎 哲也 特任准教授	循環器内科分野
5/13	金	5	小児科学講座	外館 玄一朗 助教	小児科学
5/19	木	5	病理診断学講座	上杉 憲幸 講師	病理診断学
5/20	金	5	血液腫瘍内科分野	鈴木 雄造 助教	血液腫瘍内科分野
5/25	水	5	産婦人科学講座	尾上 洋樹 助教	産婦人科学
5/27	金	5	消化器内科肝臓分野	滝川 康裕 教授	消化器病学

6/2	木	5	心・腎・内分泌内科分野	瀬川 利恵 特任講師	心血管・腎・内分泌内科分野
6/3	金	5	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	まとめ講義

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

試験による。
--------

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			